第２学年Ｂ組（前半クラス）外国語（英語）科学習指導案

平成２７年１０月２７日（火）　第５校時
３階少人数指導教室　男子１０名　女子１０名
授　業　者　　教　諭　　阿　部　弥　生

１．単元名　NEW TREASURE ENGLISH SERIES 2　Lesson 8-3 “I really enjoyed myself.”

２．単元について

（１）　題材設定の理由

イラストから登場人物がどんな会話をしているか想像し、「驚き」や「喜び」の表現の仕方を学ぶ。テキストの会話は、言葉による表現だけでなく、声の大きさや顔の表情でも表現できるように工夫されている。本文中３か所に使われている新出表現の再帰代名詞に注目し、それぞれの人称に合わせて正しく表現できるようにしたい。

（２）　生徒の実態

知的好奇心が旺盛な生徒が多く、英語学習に意欲的に取り組んでいる。授業時間だけでは学習量が不足するため、１年次からテキストの予習・復習の仕方を提示し、授業外の英語学習も重視している。4 技能をバランスよく伸ばすことを目標に、授業ではリスニング・スピーキングを中心に進めているが、リーディング・ライティングについても、その学習方法を確認する時間を設けている。

３.ICT 活用の視点

研修主題「ICT を活用した指導の工夫及び改善」に基づき、「ICT を効果的に活用することで、生徒間のコミュニケーション能力を高めることができる。」という仮説を立てて検証している。本時では、研究主題に迫る手立て「言語活動における活用」を中心に ICT を使用する。

ICT 活用の場面は、授業の始めに帯的に学習している「修学旅行英語でインタビュー」である。この帯的学習は、１２月初旬の京都・奈良方面への修学旅行の際に、５人１グループで外国の方へ英語でインタビューし、帰校後に各自で ICT を用いてレポート作成を行うための準備として行っている。インタビュー場面を想定し、提示されたテーマに適切な英文を『コラボノート（協働学習支援ソフト)』のシートに書く活動を行う。この場面で『コラボノート』を使用するのは、各生徒が英語で表現したり、仲間が書いた英文を読んだりすることにより、生徒間のコミュニケーション能力を高めることが期待できるからである。

４．単元の目標

○　ICT を用いて自分の考えを英文で表現し、また仲間の考えを知ることにより、コミュニケーション能力を高めることができる。

○　さまざまな名詞（不定代名詞、再帰代名詞など）を学び、それを用いた英文のコミュニケーション活動を通して、内容を正しく理解することができる。

５．指導計画と評価規準（全５時間）　本時３/５

時	○学習活動 ・学習内容	評価規準			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語 表現の能力	外国語 理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1	○具体的な形のないものについて表現する ・本文の内容理解 ・ペアワーク ・文法事項の確認		既習の表現および新出文型を使って英文で表現することができる。 <S><W>	テキスト本文を聞き、またその内容を読んで理解できる。 <L><R>	
2	○「(いくつかあるもののうちの）１つは」や「その他、残りは」などを表現する ・本文の内容理解 ・ペアワーク ・文法事項の確認		既習の表現および新出文型を使って英文で表現することができる。 <S><W>	テキスト本文を聞き、またその内容を読んで理解できる。 <L><R>	
3	○「自分で…した」などを伝える ・本文の内容理解 ・ペアワーク ・文法事項の確認		既習の表現および新出文型を使って英文で表現することができる。 <S><W>	テキスト本文を聞き、またその内容を読んで理解できる。 <L><R>	
4	○Reading ・スポーツを通して平和を訴えた女性の伝記の読解	英文で書かれた伝記に興味を持ち、内容を把握する。	質問を理解し、本文からキーワードを探して答えることができる。 <R>	伝記文の内容を理解することができる。 <R>	論理的な意見の述べ方を理解する。
5	○Communication 「店頭で」 ・苦情の言い方、交換を要求する言い方	店頭での会話表現を学ぶ。	苦情を言ったり交換を要求したりすることができる。 <L><S>	相手の意見や、要求に対する応答を理解することができる。 <L><S>	

６．本時の学習活動

（１）本時のねらい

①既習の表現および新出文型を使って英文で表現することができる。

②テキスト本文を聞き、またその内容を読んで正しく理解することができる。

（２）展開　　凡例：＜領域＞、(評価の観点)、[評価方法]

過程	学習活動・学習内容	指導の留意点　○評価 ☆ICT 活用場面
導入 10 分	①　英語であいさつ	・授業の始めに大きな声で発声できるように留意する。
	②　修学旅行英語でインタビュー５「質問をしてみよう」 帯学習として『コラボノート（協働学習支援ソフト）』を使用し、テーマに基づいた英文を書き、また仲間が書いた英文を読んで、場面にふさわしい表現を考える。	☆『コラボノート』のシートに書き込ませる。 （手立て２言語活動における活用） ○既習の表現を使って英文で表現することができる。 ＜W/R＞（表）［観察］
展開 30 分	③　復習【8-2】 前時に学習した、語句や「不定代名詞」を復習する。 ・新出語句の確認（日本語→英語） ・音読 ・ディクテーション	☆グループ全体で、フラッシュカードソフトを使い、語句のリスニング・スピーキングを行う。 ○前時に学習した英文を正しく聞き、書き取ることができる。 ＜L/S/W＞（表）［ワークシート］
	④　内容理解【8-3】 再帰代名詞を人称に合わせて正しく表現することができる。 ・新出語句の学習（英語→日本語） ・音読（リピート、グループ） ・読解（スラッシュリーディング） ・True or False?（内容理解）	☆グループ全体で、フラッシュカードソフトを使い、新出語句のリスニング・スピーキングを行う。 ○本文の内容を正しく理解し、英語の語順で音読することができる。 ＜L/S/R＞（理）［観察］
発展 10 分	⑤　演習 ・新出文法の解説を行う。 ・新出文法を使った例文に数多く触れて運用力を高める。	・本文のポイントについて、ペアで確認をする。 ○再帰代名詞について、文法の知識を整理する。 ＜R/W＞（理）［ワークシート］
	⑥　英語であいさつ	・大きな声で発声できるように留意する。